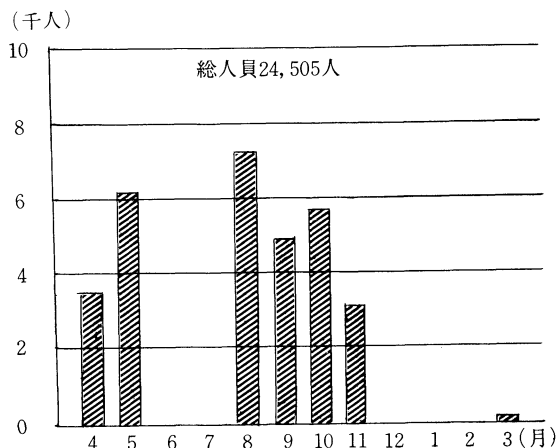


### 3. 信夫ヶ丘陸上競技場(別表6～7参照)

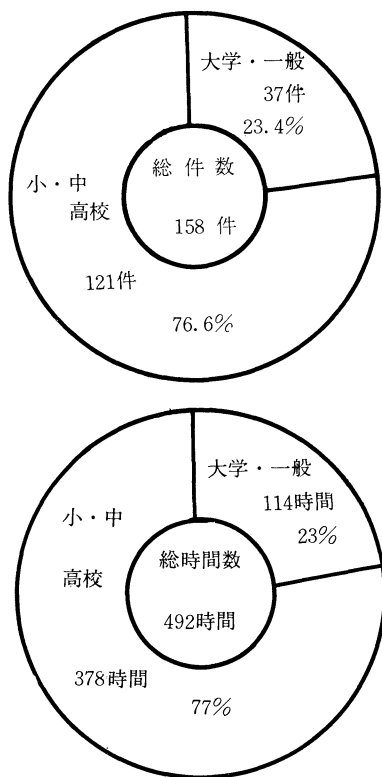
前にのべたように、改修工事のためもっとも利用度の高い5月中旬より8月中旬まで約3ヶ月間、閉場したので例年よりかなり利用者が減少した。利用総人員は24,505名(前年度57,594人)、件数では高校までの利用が121件で大学一般の37件の約3倍、時間数も約3倍となっている。高校まで及び大学の利用は陸上競技の練習及び大会のみであるが、一般の利用は職場の運動会がほとんどである。

別表6 陸上競技各月(4月～3月)の使用総人員比較



別表7 陸上競技場使用状況(件数、時間数)

(イ)



(ロ)

時間	高校まで		大学・一般		合計	
	件数	時間数	件数	時間数	件数	時間数
1	3	3	6	6	9	9
2	38	76	17	34	55	110
3	46	138	4	12	50	150
4	17	68	2	8	19	76
5	10	50	2	10	12	60
6	6	36	0	0	6	36
7	1	7	4	28	5	35
8	0	0	2	16	2	16
9	0	0	0	0	0	0
合計	121	378	37	114	158	492
総件数総時間数の百分比	76.6%	77%	23.4%	23%	100%	100%

### 4. 相撲場(別表8参照)

第7回国民体育大会(昭和27年)に建設されたが、本部建物は老朽化したので昭和44年に改修した。

利用状況は相撲競技人口の低さから他の施設に較べると低調であった。

別表8 相撲場利用状況

区分	項目	月別							計
		4	5	6	7	8	9	10	
団体	人数	70	-	14	50	510	-	370	1,014
	使用料円	300	-	250	300	1,100	-	1,700	3,650
使用日数		1	-	2	1	13	-	14	31

### 5. 土湯スケート場

本年は暖冬異変のため1日も利用することができなかった。なお年間1日も利用できなかった年はいまままでにないとのことである

### 6. 体育館附属合宿所(別表9～12参照)

合宿所使用日数189日、使用者延人数7,201人で前年度より相当増加している。増加のおもな理由は宿泊施設の普及によるスポーツ関係者の使用は勿論であるが、スポーツ関係者に使用されない時期に他の団体等で宿泊訓練を通じての研修にも相当使用された。

別表9 合宿所月別使用日数及び使用人数等一覧

項目	4	5	6	7	8	9	10
使用日数	11	10	11	21	25	14	20
使用延人数	505	150	163	1,166	1,517	578	499
使用料	81,900	19,500	30,800	179,050	272,400	78,050	86,300
食事料	183,850	42,660	56,720	367,260	594,020	137,870	84,110
計 円	265,750	62,160	87,520	546,310	866,420	215,920	170,410